



# 自主的に歩み だあための居場所

左から桑本大貴教育指導員、宮脇潤子教育相談員、石谷洋子教育相談員

## 教育支援センター「寺子屋」

(旧庄内小学校内) ☎ 0859 - 54 - 2037

今年4月に旧庄内小学校内に設置された教育支援センター「寺子屋」について、宮脇潤子教育相談員が紹介します。

### 「寺子屋」の設置目的

不登校の原因や状況は一人ひとり異なりますが、学校生活への復帰や社会的自立にむけて自主的に歩み出せるための居場所作りが必要となっています。

この3月で県の支援センターが閉鎖されたことに伴い、不登校の子どもたちの自立を支援する場所として、大山町が自主運営する教育支援センター「寺子屋」が設置されました。  
学校復帰への支援

「寺子屋」は、不登校に悩む児童生徒の集団活動への適応指導、生活リズム改善、学校復帰への支援、学習及び相談活動が主な業務です。利用対象者は不登校状態にある小・中・高校生のうち、支援センターへ通うことができ、本人と保護者が入級を希望し、在籍校の校長が入級を認められた子どもたちです。

### 3人の指導員の紹介

教育相談業務は石谷洋子と宮脇潤子で対応しています。石谷相談員は県の支援センター

「きやらぼく教室」に5年間勤務し、経験豊富で子どもたちや保護者からの信望も厚い先生です。



調理実習の様子

宮脇相談員は、この3月まで同じく県の支援センター「こすもす教室」で4年間子どもたちにかかわってきました。その経験をもとに、石谷相談員にいろいろと教えてもらいながら相談業務を学んでいます。

桑本大貴教育指導員は、若くさわやかな先生で、スポーツ万能。楽しい話術で子どもたちの笑顔を引き出してくれています。

「子どもたち第一に」を合言葉に、自分の意見をはっきりいえる場所、そしていつも笑いの絶えない教室を目指し、チームワークをしっかりと取りながら教室の子どもたちと保護者の方々に支援していきたいと思っています。

学校に行きたい気持ちはあるのに学校へ行けない。いじめられる。友達のことなどで悩んでいる。……

まわりの人に相談できないときには、一人で悩まないで、話してみませんか？

## いじめ・悩み相談ダイヤル

(悩み相談専用電話・ファックス)

電話・ファックス 0859 - 54 - 5223

月曜日から金曜日 9時から17時まで

(休日や時間外は、留守番電話にメッセージが残せるようになっています)

秘密はかたく守ります。どんなことでも相談してください。保護者の方の相談も受け付けています。